

第1体育館下ピロティ 運動場開き 挨拶



H28.12.15 校長

この夏の野球部の活躍、甲子園初出場に際しては、非常に多くの皆さまからたくさんの激励金を寄付していただきました。本当に有り難く思っています。寄付にあたっては、今回の甲子園出場にかかる経費以外に、野球部の今後の活動のため、そして更に出雲高校全体が一層盛り上がっていくように、施設設備の充実のために使って欲しいという気持ちで、寄付がよせられました。

その寄附金をもとに、現在、甲子園出場記念事業として、野球部グラウンドの整備事業などを進めています。この度、たくさんの部活動で共有して使用できる練習場所として、このピロティの整備事業を進めてきました。

まず、ネットを新しく厚い丈夫なものに変えました。

照明も、LEDの明るいものに変えました。

そして、最後に、床の部分をこれまでのアスファルトからオムニコートに変えました。

これによって、雨天の日にも、怪我を気にせず、安心安全な環境の中で部活動で使うことができるようになりました。

テニスコートに併せたラインや、フットサル用のライン、吹奏楽の練習で立ち位置が分かりやすいように2メートルラインにポイントするなど、使いやすさにも配慮しています。

皆さんは、聖書に出てくることわざ、「新しい酒は新しい革袋に盛れ」というのを知っていますか。「新しい酒を古い革袋に入れるな」とも言いますが、これまでにない新しい考え方や手法を生かそうとすれば、それに応じた新しい様式や組織の在り方が必要だ、という意味です。出雲高校生が高めを目指して新たな挑戦を続けて行くにあたって、こうして新しい環境を整えることはとても意義あることと思っています。

この新しい環境をみんなを活かし、みんなで一歩前に進んでいきたいと思えます。

最後になりますが、たくさんの皆さんの善意、寄付によってこのピロティが整備されたと言うことを心にとめ、感謝の気持ちを忘れず、大切に使用して欲しいと願っています。

校長室で、ピロティからみんなの元気に頑張る声が高らかに聞こえてくるのを楽しみにしています。